

5.7 北斎の『凱風快晴』



図5-7-1 完成図

富嶽三十六景で有名な葛飾北斎が描いた版画『凱風快晴』と同じ風景を描いてみました。

『凱風快晴』については、どこから描いたのかはわかっていません。富嶽三十六景のなかで描いた場所が書かれていないのはこの『凱風快晴』と『山下白雨』『諸人登山』の3点のみであり、謎のある作品となっています。

場所については諸説ありますが、富士の形や北斎の記録から富士吉田あるいは三ッ峠山付近からの可能性が高いとされています。作例では三ッ峠山として描いてみました。



図5-7-2 葛飾北斎『凱風快晴』

P
oint

- 高さ強調を使う。
- 地形色で赤富士を作る。
- 雲の大きさを変えていわし雲を作る。

ステップ1 カシバードの起動

ジャンプメニューの [地名へ] で「三ッ峠山」を検索して三ッ峠山に移動します。

山頂でカシバードを起動します。

① 三ッ峠山の山頂で右クリックする

② [カシバード] - [カシバード位置] を選ぶ



図5-7-3 カシバードを起動する

ステップ2 構図を決める

構図は『凱風快晴』と見比べて同じにします。

対地高度は人の目の高さくらいにします。また高さ強調を使って北斎の富士のように鋭角の富士山にします。

① [対地高度] を2mくらいに設定する



図5-7-4 対地高度を決める

② レンズボタンをクリックする

④ [OK] ボタンをクリックする

③ 50mmレンズを選ぶ

⑤ 詳細ボタンをクリックする

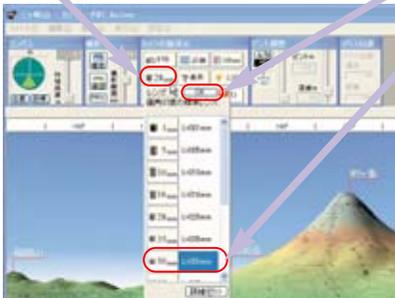


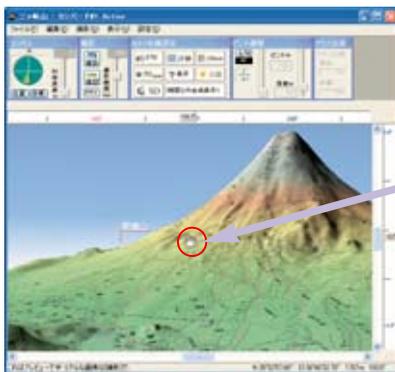
図5-7-5 レンズを選択する

⑥ [高さ強調] に2を入力する

⑦ [OK] ボタンをクリックする



図5-7-6 高さ強調



⑧画面をマウスでドラッグして富士山の構図を決める

図5-7-7 構図の調整

ステップ3 風景設定を選ぶ

風景の設定は [火山] を選びます。

- ①風景の設定ボタンをクリックする
- ② [火山] をクリックする
- ③ [詳細] ボタンをクリックする (すでにいちどクリックしてあれば不要)



図5-7-8 風景設定の調整

ステップ4 太陽の方向を決める

赤富士になるように仰角を下ろして、方位角は視線左手（東方向）にします。

- ② [視線を基準] を選ぶ
- ③ [方位] を249くらいにする



- ④ [仰角] に12を入力する
- ① [太陽] ボタンをクリックする

図5-7-9 太陽の方向を調整する

ステップ5 雲を調整する

『凱風快晴』の雲はいわし雲でしょうか。

同じような雲を作るために、絹雲を元に大きさを縮めて作ります。



図5-7-10 雲を設定する



図5-7-11 雲を設定する



図5-7-12 雲を調整する



図5-7-13 いわし雲にする

ステップ6 空の色を調整する

空は濃紺です。また遠方の空の色も加味して大気の厚さを変えます。



図5-7-14 空の調整をする

ステップ7 赤富士を作る

地形色で赤富士を作ります。

また富士の下部は黒い森に覆われていますので、平野を使って色を設定し、バンプ強度を大きくして森の感じに見せます。

上部は赤銅色を配してのっぺりした感じに仕上げます。



図5-7-15 地形の設定

④ [平野] タブをクリックする



⑤ [素材を編集する] ボタンをクリックする

図5-7-16 平野の設定

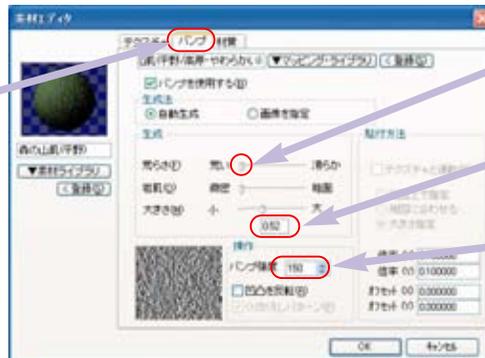
⑥ [単色から生成] を選ぶ



⑦ 5つの色ボタンを順にクリックし、それぞれの [赤] [緑] [青] をすべて73、97、58に設定

図5-7-17 平野のテクスチャ

⑧ [バンブ] タブをクリックする



⑨ [荒らさ] を一番左端に設定する

⑩ [大きさ] を0.5程度にする

⑪ [バンブ強度] を150にする

図5-7-18 平野のバンブ

⑫ [材質] タブをクリックする

⑬ [拡散光強度] に 100を入力する

⑭ [OK] ボタンをクリックする

図5-7-19 平野の材質

⑮ [高原] タブをクリックする

⑯ [素材を編集する] ボタンをクリックする

図5-7-20 高原の設定

⑰ [単色から生成] を選ぶ

⑱ 5つの色ボタンを順にクリックし、それぞれの [赤] [緑] [青] をすべて131、38、24に設定

図5-7-21 高原のテクスチャ

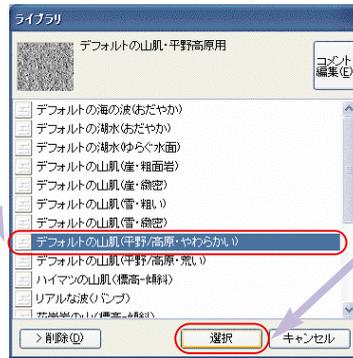
⑱ [バンプ] タブをクリックする



⑳ [マッピングライブラリ] ボタンをクリックする

図5-7-22 高原のバンプ

㉑ [デフォルトの山肌 (平野/高原・やわらかい)] を選択する



㉒ [選択] ボタンをクリックする

図5-7-23 マッピングライブラリ

㉓ [材質] タブをクリックする



㉔ [拡散光強度] に 120を入力する

㉕ [OK] ボタンをクリックする

図5-7-24 高原の材質

②⑥ 【崖】 タブをクリックする



②⑦ 【素材を編集する】 ボタンをクリックする

図5-7-25 崖の設定

②⑧ 【単色から生成】 を選ぶ



②⑨ 5つの色ボタンを順にクリックし、それぞれの【赤】【緑】【青】をすべて86、38、33に設定

図5-7-26 崖のテクスチャ

③⑩ 【バンプ】 タブをクリックする



③⑪ 【マッピングライブラリ】 ボタンをクリックする

図5-7-27 崖のバンプ

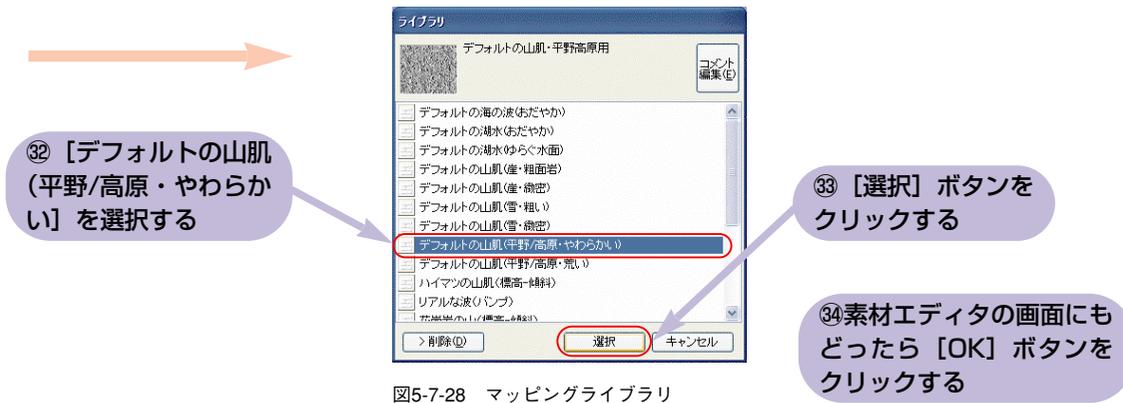


図5-7-28 マッピングライブラリ

ステップ8 雪を設定する

北斎の富士の山頂部にかかっている白いものは雪のように見えますが雪ではないかもしれません。しかしここでは雪を使ってできるだけ雰囲気近づけてみましょう。



図5-7-29 雪の設定変更

ステップ9 カメラの変更

影を表現できるカメラに変更します。

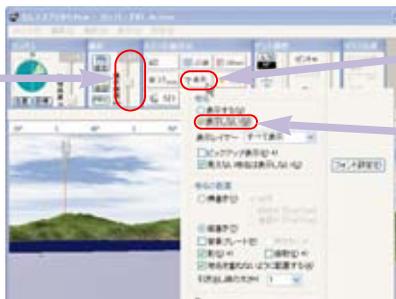


図5-7-30 カメラの変更

ステップ10 撮影範囲と地名の設定

遠方に見える風景が写らないように撮影範囲を25kmとします。
地名は消しておきます。

① 【撮影範囲】 を25kmにする



② 地名ボタンをクリックする

③ 【表示しない】 を選ぶ

④ 【OK】 ボタンをクリックする

図5-7-31 撮影範囲と地名の設定

ステップ11 撮影してできあがり

必要に応じてできあがりの画像サイズを決めてください。
(2.11参照)

【撮影】 ボタンをクリックすればできあがりです。

【撮影】 ボタンをクリックする

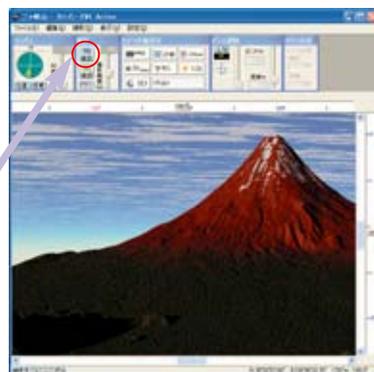


図5-7-32 撮影してできあがり

Plus1
もうひと工夫

『凱風快晴』はもともと赤富士ではなく青富士だったという説もあります。青富士だとどのように変わるか試してみましょう。
青富士に変えるには、高原と崖の色を変えます。高原は図5-7-21で【赤】【緑】【青】をすべて100、122、210に、崖は図5-7-26で【赤】【緑】【青】をすべて41、41、235にして下さい。